

### 34 地下タンク貯蔵所の解体作業で、地下タンクを破損し灯油が流出した事故

#### 1 発生年月

平成24年7月

#### 2 施設区分

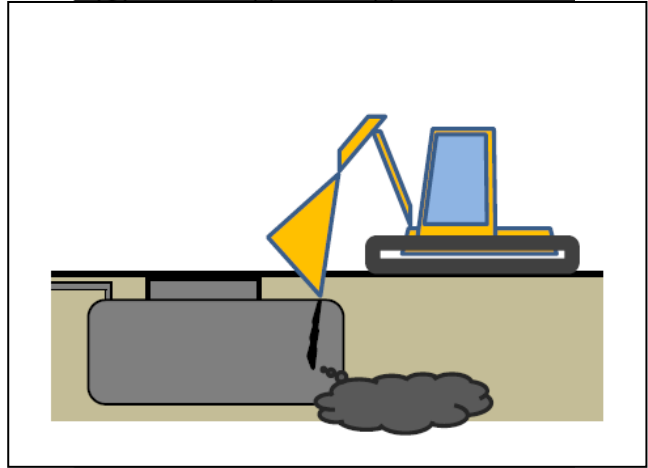
地下タンク貯蔵所

#### 3 物質区分

第4類第2石油類（灯油）

#### 4 事故概要

地下タンク貯蔵所廃止に伴うタンク掘上げ解体作業中に、タンク内に残存していた灯油約200Lを流出させた。



#### 5 事故原因

解体作業員が地下タンクを重機で破壊し、残存していた灯油が流出した。

#### 6 対策

- ・ 貯蔵タンクを解体する場合は、残存する危険物及び可燃性蒸気を確認し、残存している場合は、完全に除去したのち、安全な場所で解体する。
- ・ 掘削工事を行う際は、施設側と工事業者側との間で、配管やタンク等の位置を確認しておく。
- ・ 施設側の担当者が工事に立ち会い、適切に行われているか確認する。
- ・ 「地下貯蔵タンクの用途廃止に係る安全管理指針」に基づき実施する。  
(別添添付参考)

#### <関連する過去の事故事例>

- ・ 「17 地下タンク貯蔵所の埋設注入管が切断されていたため荷卸し時に重油が流出した事故」（発生年月：平成22年6月）

#### <関連する保安教育資料>

- ・ 「6 工事における注意点」（平成20年3月発行）